

平成28年度 横浜市青少年育成センター 事業計画一覧表

事業の柱	事業名	内容	実施時期/ 回数他	予算額 (千円)	備考
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	諸室及び物品の貸出 研修室や機材、印刷機、着ぐるみなどの貸出を行うことで、地域の青少年活動を支援します。また、WEBを活用した情報提供やロッカーの設置などのサービス向上に努めるほか、空き時間を活用した利用促進に取り組みます。 ・研修室や機材、印刷機等の貸出 ・利用者サービスの向上（広報紙、ロッカー、ニーズ反映他） ・利用促進（パンフレット、HPなど） ・防災・防犯 等	通年	2,734	コーディネーター（時給職員）賃金含む
	え相談・助言	相談・コーディネート 青少年育成や、ボランティア・市民活動等にかかる相談窓口として「解決に向かってともに考える」姿勢を基本に、活動コーディネートや情報収集、スタッフ研修に取り組みます。 ・相談窓口の開設 ・青少年育成や市民活動等にかかるコーディネート ・スタッフ研修	通年	1,558	
	情報提供（情報コーナーの運営）	青少年育成にかかる研修や活動情報、図書などが閲覧・収集できる「情報コーナー」を運営するとともに、HPやメール等を活用し青少年関係情報を発信します。 また、相談や講座等で収集した情報を、事業課と連携した調査・研究等に活用します。 ・情報コーナーの運営 ・情報収集、情報発信および調査・研究	通年	893	
B 青少年を支える人材を育成する事業	い講座・セミナー・育成	課題解決に結び付けることができる人材の育成と支援 青少年を取り巻く課題を正しく理解し、必要に応じて専門機関や社会資源などにつなぐ人材を養成します。また、活動を充実させる環境を整えるため、研修の体系化を行うほか、認定制度に向けた準備を行います。 ①ユースコーディネーターの養成（連続講座） ②認定制度に向けた取り組み	①10～12月 /4回 ②通年	1,050	
	人材のすそ野を広げるための講座・研修	地域で青少年に関わる人材を増やすため、主に初任者を対象とした研修を実施します。 地域等において青少年の「居場所」のあり方について実践からヒントを得る連続講座のほか、活動に役立つ考え方や手法を学ぶ研修を実施します。 ①青少年の居場所づくり講座（連続講座） ②スキルアップ研修（4講座）	①7～10月 /5回 ②5～2月	320	
	啓発事業	今日的なテーマを取り上げ、広く市民が参加できるシンポジウムを実施するほか、必要に応じて地域等に出向き「青少年支援」の社会的認知拡大に向けて取り組みます。 ①シンポジウム ②地域等ヘアウトリーチ（ニーズ把握と講座開発）	①1月 ②通年	168	

人材育成のためのネットワークの形成	<p>テーマ別・経験別など、関心や課題、目的ごとに気軽に意見交換をできる機会を設けます。また、課題やノウハウなどを情報交換できる、団体や施設ごとのネットワークを推進します。</p> <p>①よこはまユースゼミ ②団体連携事業（情報交換会）</p>	<p>①5～3月 /5回 ②1回</p>	86	
活動充実のための研修事業	<p>施設のノウハウを活用し、青少年育成に関する専門的知識やスキルを学ぶ機会を提供することで、より幅広いニーズに応えていきます。</p> <p>①ステップアップ研修 ②専門研修</p>	<p>①11月 ②6月</p>	120	
青少年育成活動の担い手の養成	<p>青少年育成活動の拡がりや充実のために、次世代の担い手となる層が、ボランティアや講座等に参加する機会を設け、地域活動や社会参加に関心を持つきっかけづくりを行います。</p> <p>①馬車道カレッジ ②ユースチャレンジ（きずな夏祭り）（2日）</p>	<p>①5～3月 /3回 ②8月</p>	195	
合 計			7,124	

《目標設定時公表項目》 平成 28 年度 横浜市青少年育成センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、施設の貸出や青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率 75% ②相談・情報提供業務 年間 120 件
業務運営	青少年に向き合う地域人材を養成します。	青少年育成に関する講座・研修等への参加者が延べ 600 人以上。
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①専門研修への延べ参加回数が 10 回以上。2 回以上の内部研修の実施 ②避難誘導訓練 年 2 回、 AED 研修 年 1 回の実施
財務	利用料収入および事業収入を増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 229 万円 ②事業収入 99 万円

《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組 (改善計画)
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	相談・情報提供業務 年間 120 件			
業務運営	青少年に向き合う地域人材を養成します。	青少年育成に関する講座・研修等への参加者が延べ 600 人以上。			
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①専門研修への延べ参加回数が 10 回以上。2 回以上の内部研修の実施 ②避難誘導訓練 年 2 回、AED 研修 年 1 回の実施			
財務	利用料収入および事業収入を増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 226 万円 ②事業収入 99 万円			

平成28年度 横浜市青少年育成センター 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	45,426,000		45,426,000		45,426,000	横浜市より
利用料金収入	2,296,000		2,296,000		2,296,000	施設利用料金収入
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	998,000		998,000		998,000	講座・研修参加費ほか
自主事業収入	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
収入合計	48,720,000	0	48,720,000	0	48,720,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,543,000	0	25,543,000	0	25,543,000	
給与・賃金	21,193,000		21,193,000		21,193,000	(施設連携事業費1,000,000.-)
社会保険料	3,200,000		3,200,000		3,200,000	(施設連携事業費500,000.-)
通勤手当	714,000		714,000		714,000	(施設連携事業費60,000.-)
健康診断費	50,000		50,000		50,000	(施設連携事業費10,000.-)
勤労者福祉共済掛金	36,000		36,000		36,000	(施設連携事業費6,000.-)
退職給付引当金繰入額	350,000		350,000		350,000	(施設連携事業費67,000.-)
事務費	447,000	0	447,000	0	447,000	
旅費	0		0		0	
消耗品費	303,000		303,000		303,000	事務物品(コピー用紙、文具、プリンタートナーなど。施設連携事業費3,000.-含む)
会議滞在費	0		0		0	
印刷製本費	47,000		47,000		47,000	(施設連携事業費47,000.-含む) 事業にかかるパンフレット・チラシ、事業費に計上
通信費	7,000		7,000		7,000	(施設連携事業費7,000.-含む) 貸出事業にかかる通信費は、事業費に計上
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	70,000		70,000		70,000	防災設備用品、事務用備品
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000		20,000	
職員等研修費	0		0		0	事業実施に関する研修
振込手数料	0		0		0	
リース料	0		0		0	貸出事業にかかる経費として事業費に計上
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
事業費	7,124,000	0	7,124,000	0	7,124,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	7,124,000		7,124,000		7,124,000	教室(講座)事業、相談事業、活動支援事業、調査研究費
自主事業費	0		0		0	
管理費	13,416,000	0	13,416,000	0	13,416,000	
光熱水費	0	0	0	0	0	*施設負担金として、設備保全費に一括計上(開内ホール)
電気料金	0		0		0	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費	0		0		0	
修繕費	500,000		500,000		500,000	小破修繕対応費
機械警備費	0		0		0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(開内ホール)
設備保全費	12,916,000	0	12,916,000	0	12,916,000	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	50,000		50,000		50,000	防火点検委託費
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	12,866,000		12,866,000		12,866,000	施設負担金、廃棄物処理費、調律費
共益費	0		0		0	
公租公課	2,100,000	0	2,100,000	0	2,100,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,100,000		2,100,000		2,100,000	消費税、印紙税
印紙税	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	90,000	0	90,000	0	90,000	
本部分	0		0		0	本部管理経費
当施設分	90,000		90,000		90,000	税理士・社労士顧問料、会計システム保守料
二一ス対応費	0		0		0	事業費内で調整
支出合計	48,720,000	0	48,720,000	0	48,720,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	998,000				0	
自主事業費支出	6,900,000				0	
自主事業収支	△ 5,902,000				0	
管理許可・目的外使用許可収入	0				0	
管理許可・目的外使用許可支出	0				0	
管理許可・目的外使用許可収支	0				0	

平成28年度 横浜市青少年育成センター保守点検計画

○建築物の保守管理

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
内部仕上げ	壁面・天井・床・等	目視点検	1日1回以上		育成C

○空調・電気・消防設備等保守点検

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
空調設備	外観の状態	目視点検	1日1回以上		関内H
	自動運転盤の異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	電流値の適正	目視点検	1日1回以上		関内H
	モーターの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	回転音異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ファンベルトの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ドレンパンの異常の有無	目視点検	月1回		関内H
	フィルターの汚れ	点検・清掃	月1回		関内H
電気設備	受電設備	年次点検	年1回(9月)		関内H
	配電設備	年次点検	年1回(9月)		関内H
	蓄電池設備	年次点検	年1回(9月)		関内H
消防設備		機器・総合点検	年2回(9月、3月)		関内H
	防火対象物定期点検	総合点検	年1回(10月)		育成C
中央監視装置		本体・制御点検	年2回(7月、2月)		関内H
エレベーター設備		月例点検	月1回	—	関内H
自動ドア設備		定期点検	年4回(6,9,12,3月)		関内H

○環境衛生業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
環境衛生管理	空気環境測定		年6回(奇数月)		関内H
	水質検査		年2回(8月、2月)		関内H
	害虫駆除	薬剤散布等	年2回(8月、2月)		関内H
	受水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)		関内H
	残留塩素測定	試薬による点検	1日1回		関内H
	高置水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)		関内H
	雑排水槽清掃	物理的清掃	年2回(8月、2月)		関内H
	排水管清掃				関内H

○備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績	分担
事務備品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C

○清掃業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
日常清掃		日常清掃	1日1回以上		関内H
定期清掃	床清掃(洗浄・ワックス塗布)	ワックス塗布	年5回		関内H
	照明器具清掃	照明器具、排気口清掃	年1回		関内H
	ガラス清掃	ガラス清掃	年6回(奇数月)		関内H

○保守管理業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
常駐警備		巡回警備	1日4回以上		関内H
機械警備		セコム	毎日(夜間)	警戒警備	関内H

No.	フロア	更新項目	内容			備考
				28年度	29年度以降	
1	地下 2階	研修室1	奥の扉の鉄枠 塗装の剥がれ	○	○	都度対応(ペンキ)
2			壁紙の浮き、剥がれ		◎	2,289千円(見積もり)
3			後方扉横のウレタンの剥がれ		◎	
4			壁紙のシミ(カビ)		◎	
5			鏡、ホワイトボード、スクリーンの扉の建てつけ	△	△	可動式鏡で対応
7		研修室2	壁紙の剥がれ		○	
8			壁の陥没(数ヶ所)		○	
9		和室	襖の建てつけ(外れやすい)	△		
10			床の間の縁(塗装の剥がれ)	○	○	都度対応(ペンキ)
			畳替え	○	○	隔年ごと
11		ミーティングルーム	壁の陥没(数ヶ所)	◎		
12		男子トイレ	タイルの破損	○		
13			入口付近の壁紙の剥がれ		○	
			便器の変更(和式⇒洋式)		△	可能な範囲で
14		女子トイレ	便器の変更(和式⇒洋式)		△	可能な範囲で
15	廊下	エレベータ前 床の剥がれ		◎	つまづきの恐れあり	

◎早急な対応が必要 ○実施予定 △予算を見て実施(それまで他の方法で対応する)